



江別市 北海道はまなす食品株式会社 『納豆を中国、アジア、アメリカ等へ』

【主な品目】

納豆

【主な輸出先国・地域】

中国、香港、シンガポール、タイ、中東、アメリカ、オセアニア、EU諸国

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 販路拡大と自走力強化を目指して、新たな市場開拓である輸出に取り組む。
- ◆ 平成30年から本格的に輸出を開始し、ここ数年コンテナ輸出にも取組み、大幅に輸出額を増加させている。
- ◆ 工場の生産能力が限界に近づいていたことから、さらなる輸出増にも対応できるよう、新工場を建設し、製造能力を2倍の規模に拡大した。

【輸出実績】（平成29年より輸出開始）

	輸出額(万円)	出荷時期
令和4年度	15,560	通年
令和3年度	14,251	
令和2年度	8,979	



輸出する納豆をコンテナに積み込む

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 札幌で開催される「FOOD HOKKAIDO」に参加するほか、北海道庁やジェトロ北海道などの支援機関のサポートを受けながら、海外販路開拓・拡大に取り組んできた。
- コンテナ輸出は、一時期に大量の納豆を製造する必要があることから、補助制度も活用しながら生産体制の強化に取り組んだ。
- EU諸国の輸入規制に対応したタレを新たに開発したことで、更なる販路開拓につながっている。
- 中国の水産物輸入停止に伴い、水産物由来の原料不使用のタレを求められたことから、専用のタレを開発し、2023年12月より輸出を再開した。



シンガポールMEIJIYAの納豆売り場

【今後の課題・展望】

- 今後とも輸出拡大を図るため、国内外の商社と連携を図りつつ、他地域への輸出拡大に積極的に取り組む。
- 輸出先国商社から、FSSC22000を取得するよう強い要請があることから、新工場において認証の取得を目指す。



輸出している主な納豆

【活用した支援・施策】 令和2年度食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備対策事業

【ウェブサイト】 <https://h-hamanasu.jp>

【連絡先】 担当者名： 営業部 萩原 TEL:011-398-7123